



FUJISAWA

地域危険度マップ

村岡地区

MURAOKA

地域危険度マップとは

南関東地震が発生したときの建物被害の状況を、50mメッシュ単位で表現したものです。建物被害の指標に「全壊率」を用いました。全壊率は、全壊（人が住めない程度の被害）となった建物の割合を意味します。

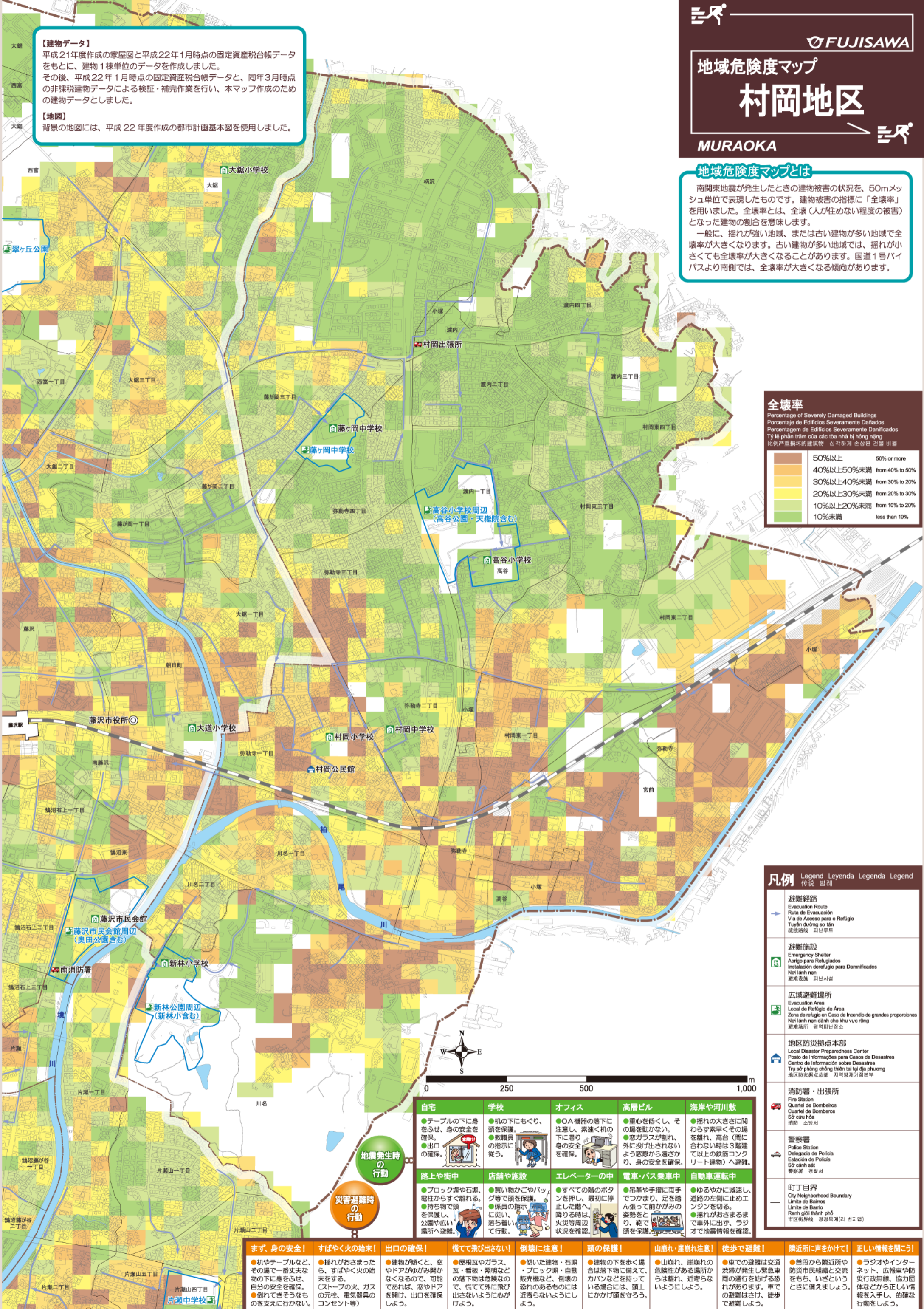
一般に、揺れが強い地域、または古い建物が多い地域で全壊率が大きくなります。古い建物が多い地域では、揺れが小さくても全壊率が大きくなる場合があります。国道1号ハイパスより南側では、全壊率が大きくなる傾向があります。

【建物データ】

平成21年度作成の家屋図と平成22年1月時点の固定資産税台帳データをもとに、建物1棟単位のデータを作成しました。その後、平成22年1月時点の固定資産税台帳データと、同年3月時点の非課税建物データによる検証・補完作業を行い、本マップ作成のための建物データとしました。

【地図】

背景の地図には、平成22年度作成の都市計画基本図を使用しました。



全壊率
Percentage of Severely Damaged Buildings
Porcentaje de Edificios Severamente Dañados
Porcentagem de Edifícios Severamente Danificados
Tỷ lệ phần trăm của các tòa nhà bị hỏng nặng
比例严重损坏的建筑物

50%以上	50% or more
40%以上50%未満	from 40% to 50%
30%以上40%未満	from 30% to 20%
20%以上30%未満	from 20% to 30%
10%以上20%未満	from 10% to 20%
10%未満	less than 10%

凡例 Legend Leyenda Legenda Legend

	避難経路 Evacuation Route Ruta de Evacuación Via de Acceso para o Refúgio Tuyến đường sơ tán 疏散路线 避難ルート
	避難施設 Emergency Shelter Abrigo para Refugiados Instalação de refúgio para Danificados Nơi lánh nạn 避難施設 避難 시설
	広域避難場所 Evacuation Area Local de Refúgio de Área Zona de refugio en Caso de Incendio de grandes proporciones Nơi lánh nạn dành cho khu vực rộng 避難場所 광역피난장소
	地区防災拠点本部 Local Disaster Preparedness Center Posto de Informações para Casos de Desastres Centro de Informação sobre Desastres Trụ sở phòng chống thiên tai tại địa phương 地区防災拠点本部 지역방재거점본부
	消防署・出張所 Fire Station Quartel de Bombeiros Cuartel de Bomberos Sở cứu hỏa 消防 소방서
	警察署 Police Station Delegacia de Polícia Estación de Policía Sở cảnh sát 警察署 경찰서
	町丁目界 City Neighborhood Boundary Limite de Bairros Limite de Barrio Ranh giới thành phố 市区町界線 경계역지(리) 界址線

自宅 ●テーブルの下に身をふせ、身の安全を確保。 ●出口の確認。	学校 ●机の下にもぐり、頭を保護。 ●教職員の指示に従う。	オフィス ●OA機器の落下に注意し、素速く机の下に潜り身の安全を確保。	高層ビル ●重心を低くし、その場を動かさない。 ●窓ガラスが割れ、外に投げ出されないよう窓際から遠ざかり、身の安全を確保。	海岸や河川敷 ●揺れの大きさに関わらず早くその場を離れ、高台（間に合わない時は3階建て以上の鉄筋コンクリート建物）へ避難。
路上や街中 ●ブロック塀や石垣、電柱からすぐ離れる。 ●持ち物で頭を保護し、公園や広い場所へ避難。	店舗や施設 ●買い物かごやバッグ等で頭を保護。 ●係員の指示に従い、落ちやすい場所を避ける。	エレベーターの中 ●すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる時は、火災等周辺状況を確認。	電車・バス乗車中 ●吊革や手摺に両手でつかまり、足を踏ん張って前かがみの姿勢をとり、鞆で頭を保護。	自動車運転中 ●ゆるやかに減速し、道路の左側に止めエンジンを切る。 ●揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオで地震情報を確認。

地震発生時の行動

災害避難時の行動

- まず、身の安全!** ●机やテーブルなど、その場で一番丈夫な物の下に身をふせ、自分の安全を確保。●倒れつきそうなものを支えに行かない。
- すばやく火の始末!** ●揺れがおさまったら、すばやく火の始末をする。(ストーブの火、ガスの元栓、電気器具のコンセント等)
- 出口の確保!** ●建物が傾くと、窓やドアがゆがみ開かなくなるので、可能であれば、窓やドアを開け、出口を確保しよう。
- 慌てて飛び出さない!** ●屋根瓦やガラス、瓦・看板・照明などの落下物は危険なので、慌てて外に飛び出さないように心がけよう。
- 倒壊に注意!** ●傾いた建物・石垣・ブロック塀・自動販売機など、倒壊の恐れのあるものには近寄らないようにしましょう。
- 頭の保護!** ●建物の下を歩く場合は落下物に備えて、カバンなどを持っていく場合には、頭上にかかて頭を守ろう。
- 山崩れ・崖崩れ注意!** ●山崩れ、崖崩れの危険性がある場所からは離れ、近寄らないようにしましょう。
- 徒歩で避難!** ●車での避難は交通渋滞が発生し緊急車両の通行を妨げる恐れがあります。車での避難はさけ、徒歩で避難しよう。
- 隣近所に声をかけて!** ●普段から隣近所や防災市民組織と交流をもち、いざというときに備えましょう。
- 正しい情報を聞こう!** ●ラジオやインターネット、広報車や防災行政無線、協力団体などから正しい情報を入手し、的確な行動をしよう。